

公表

事業所における自己評価総括表 【みらい工房たんぽぽルームそが】

○事業所名	みらい工房たんぽぽルームそが		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 15日 ～ R6年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R6年 11月 15日 ～ R6年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内が広く、部屋数もある為、個々のスペースを十分に設けており、心地よく過ごせることが出来ていると思います。	日頃から職員が利用者の様子を良く見る事で、室内の環境作りに反映する事が出来ています。環境作りに関しても、トライアンドエラーやPCDAサイクルを活用しながら対応しています。	その年度により、利用される利用者、室内の様子等が異なります。その為現状維持とせず、その時の状況に合わせた取り組みは今後も大切にしていきます。また、面談等で保護者が来所した際に見ていただき、意見をもらいたいと思います。
2	利用者の成長や状況により、支援方法や活動内容、施設の整備にすぐに対応できる事が強みだと思っています。	大枠では年度毎に活動の見直しを行い、利用者の様子に合わせて、活動内容を追加しています。（近年では選択、感覚、微細等）各活動に関しても、トライアンドエラーやPCDAサイクル活用しながら、アップデートしています。	今の取り組みを継続していくと共に、常に考え続ける事が大切だと思います。また、クッキングや外出等、頻度が少なくなってしまった物に関しては、どうしたら実施頻度を増やせるか考えていきたいと思っています。
3	法人内に生活介護事業所、GH、短期入所、相談事業所等の施設がある為、実習や卒業後の進路等、連携を円滑に行っています。	実習や卒業後等、実際に様子を見に行き、支援方法の共有等を行っています。	実習以外でも施設を行き来する機会を設ける事で、他の放課後等デイサービス利用者や生活介護施設との交流し、身近に感じられる様に出来ればと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルの策定や、訓練の実施を行う事は出来ているが、周知する必要があると思います。	マニュアルを確認出来る環境の不足や、訓練が全ての曜日で、実施出来ない事は課題に感じます。	HP上に各マニュアルを公表する。訓練の回数を増やす等の改善を考えています。
2	家族支援プログラムや保護者会、きょうだい向けのイベント等はありません。	保護者の方へは面談の場や、お互い何かあれば随時連絡を行い、適宜意向や支援状況、アドバイス等は実施しております。	こちらからの左記の内容の開催については、ニーズ等を踏まえて検討する必要があると考えています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありません。	交流先や時間、対応職員の確保等、通常の営業と並行して考えると、全員一律に参加は難しいと感じる部分があります。	まずは身近な所かで法人内の放課後等デイサービス同士、交流を図る機会を検討していきます。